

平成21年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」逗子市の分析結果(中学校)

はじめに

「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」は、国が全国的な子どもの体力の状況を把握・分析することにより、子どもの体力の向上に係る施策の成果と課題を検証し、その改善を図ることを目的に毎年抽出校を対象に実施されています。

平成21年度、逗子市では、子どもの体力や運動習慣、生活習慣、食習慣等の状況を全国的な状況との関係において把握・分析するとともに、分析結果を踏まえ、各学校において今後の指導方法の工夫と改善に活用すること、本市の教育施策の成果と課題を把握しその改善を図ることを目的とし、全ての公立中学校の2年生がこの調査に参加しました。

1 実施状況



調査実施日 平成21年4月から7月末までの期間

調査事項

実技に関する調査9種目(握力、上体起こし、長座体前屈、反復横とび、20mシャトルラン又は持久走、50m走、立ち幅とび、ハンドボール投げ)

質問紙調査(運動習慣、生活習慣、食習慣に関する質問紙調査)

実施学校・学年・調査数 逗子市立中学校2年生357名

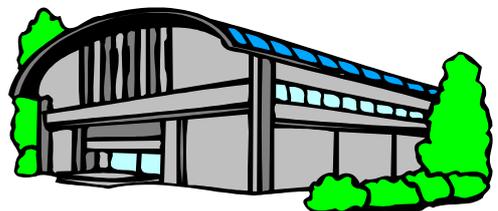
2 逗子市の実技に関する調査結果の概要(中学校2年生)

(1)男子

9種目中3種目(「持久走」「50m走」「立ち幅とび」)で全国平均も県平均も上回る結果でした。6種目が全国平均を下回っていますが、うち2種目(「上体起こし」「反復横とび」)はわずかな差です。「握力」と「ハンドボール投げ」は5%強下回っています。大きな課題を残したのは、「20mシャトルラン」で、全国平均の回数よりも15%を超える差で下回っています。体力合計点では全国を5%強下回っています。

(2)女子

9種目中1種目(「50m走」)が全国と同じで、残り8種目が全国平均を下回っています。しかし、うち4種目(「長座体前屈」「反復横とび」「持久走」「立ち幅とび」)はわずかな差です。3種目(「握力」「上体起こし」「ハンドボール投げ」)の差は5%程度です。大きな課題を残したのは男子と同様に「20mシャトルラン」で、全国平均の回数よりも10%を超える差で下回っています。体力合計点では全国を5%弱下回っています。



3 調査結果を踏まえた指導の改善

体力・運動能力の調査結果のほとんどが、下回っているとはいえ大きな差はなく全国の値とほぼ同じといえるでしょう。しかし、20mシャトルランの結果には大きな課題が見られます。「上体起こし」「反復横とび」「持久走」の調査結果と併せて考えると、逗子の中学2年生の子どもたちが伸ばすべきは「気力」といえます。苦しい時やつらい時に頑張れるよう、励ましとなる指導を工夫する必要があります。また、「握力」「上体起こし」「ハンドボール投げ」の結果からは、「筋力」にやや課題が見られます。その「筋力」を高めることにより生活のどんな場面で役立つのかを伝え、子どもたちが楽しみながら意識を持って「筋力」を高めるための運動に取り組めるようにする等指導の工夫をすることが必要です

質問紙調査の結果からは、改善のためには家庭や地域との連携が不可欠である課題がいくつか見えてきます。小学校5年生の結果と比べると、その課題性がより高まっていることもわかります。子どもたちが主体的に改善に取り組めるよう、連携を呼びかけていきます。

子どもたちの体力・運動能力のより一層の向上のために、神奈川県教育委員会が「健康・体力づくり」の取り組み推進のために作成・発行している資料(教師向け実践事例資料集・ビデオ、子ども向けの冊子、家庭向けのリーフレット)等を活用して効果的な指導を行っていきます。

4 質問紙調査の回答から見えてくること

体格

男女ともに全国・県よりも痩身出現率がやや高め、肥満出現率がやや低めとなっています。

食習慣

男子の朝食の摂食状況は、「毎日食べる」と回答した割合が全国を5%強下回っており、その分「時々食べない」と回答した割合が高くなっています。女子の朝食の摂食状況は、「毎日食べる」と回答した割合が全国・県をやや下回っています。

生活習慣

【睡眠時間】男女とも、一日の睡眠時間は「8時間以上」と回答した割合が全国・県の割合を5%強上回っています。

【テレビ等の視聴時間(テレビゲームも含む)】視聴時間が「3時間以上」と回答した女子の割合が全国・県をやや上回っています。男子の視聴時間は全国・県とほぼ同じです。

運動習慣

【運動部やスポーツクラブへの所属】「所属している」と回答した割合が男子は全国を5%弱下回っており、女子はやや上回っています。

【運動やスポーツの実施頻度】男女ともに、「週3日以上」と回答した割合も、「週3日以上」と回答した割合と「週に1~2日」と回答した割合を合計した割合も全国・県を下回っています。女子の全国との差の値は大きなものではありませんが、男子は5%を超える差があり、「運動部やスポーツクラブへの所属」の調査結果との関連が見られます。

【平日(始業前)の運動やスポーツの実施状況】男女とも、「している」と回答した割合が全国・県の割合を10%以上上回っており、またその時間も長めです。

【平日(昼休み)の運動やスポーツの実施状況】女子は「している」と回答した割合が全国・県の割合をやや上回っており、またその時間も長めです。男子は、「している」と回答した割合が全国・県の割合を5%程度下回っており、またその時間も短めです。

【土曜日・日曜日の運動やスポーツの実施状況】「している」と回答した割合が、男女ともに全国・県の割合を下回っています。女子の全国との差の値は大きなものではありませんが、男子は10%近い差があり、これも実施頻度と同様に「運動部やスポーツクラブへの所属」の調査結果との関連が見られます。